

台風16号の降雨における岩屋ダムの防災操作について（速報）

木曾川水系馬瀬川の水資源機構岩屋ダム（下呂市金山町）流域では、前線及び台風16号の影響により、9月17日20時から9月20日21時までの総雨量が222mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダムへの最大流入量は毎秒671立方メートルとなりました。

この洪水に対して、岩屋ダムでは防災操作を実施し、最大流入量時に毎秒464立方メートルの水をダムに貯留して、ダム下流河川の水位低減に努めました。

今回の防災操作により、岩屋ダムが無い場合と比べ、東沓部地点（下呂市金山町東沓部地先）の河川水位を最大約1.1メートル低減したものと推定されます。

※防災操作：大雨によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的にため込んで、ダムから下流に流す水の量を減らし、下流河川の水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

平成28年9月21日



独立行政法人 水資源機構
岩屋ダム管理所

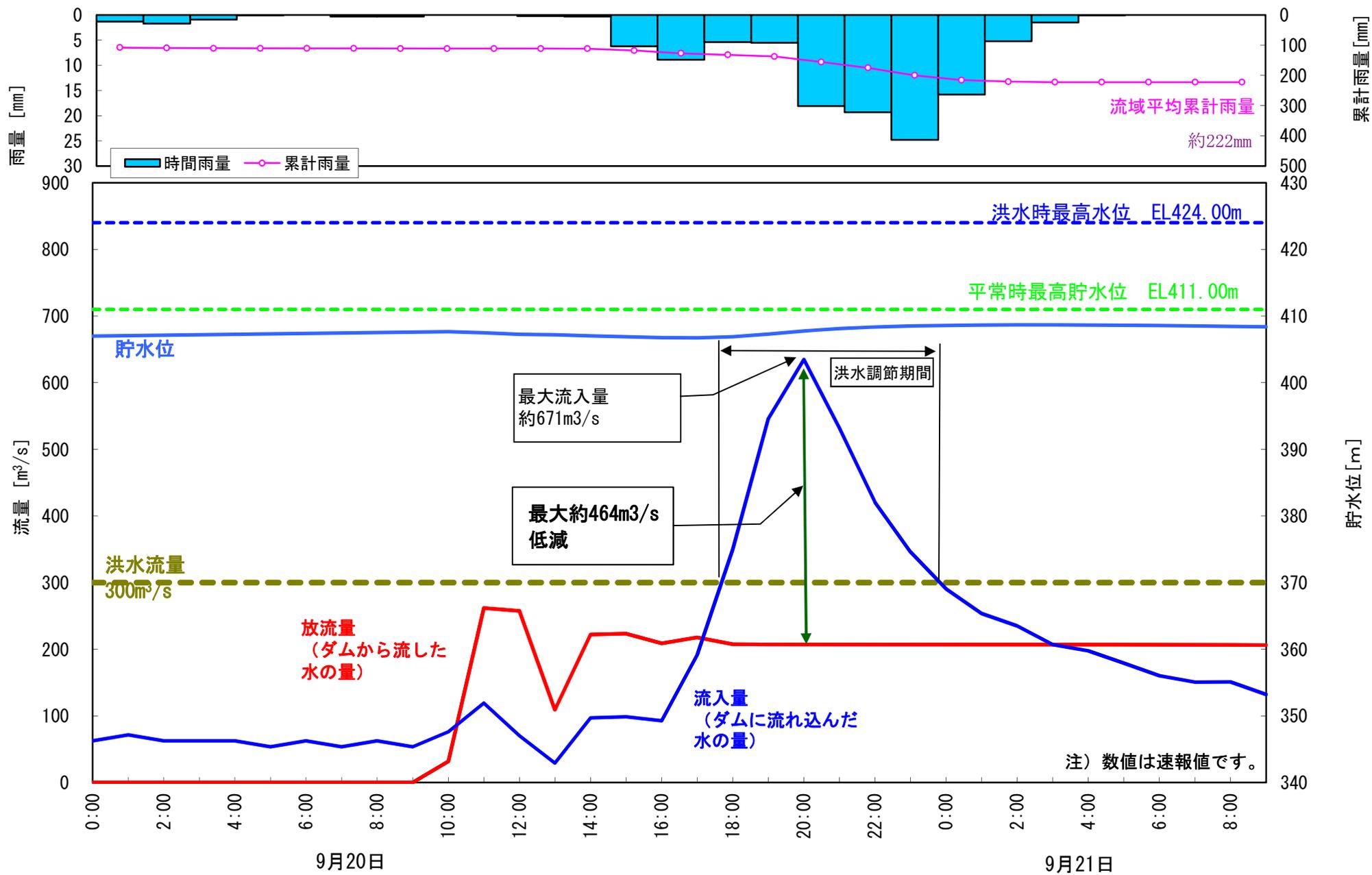
発表記者クラブ

中日新聞社萩原通信局	名古屋テレビ高山通信部
岐阜新聞社下呂支局	岐阜放送高山放送局
読売新聞社下呂通信部	CBC中部日本放送高山支局
朝日新聞社高山支局	中京テレビ岐阜支局
毎日新聞社岐阜支局高山通信部	東海テレビ高山通信部
NHK高山支局	シーシーエヌ株式会社

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 岩屋ダム管理所 所長代理 よねざわ よしや
米澤 喜弥
住 所：岐阜県下呂市金山町卯野原6-27
電 話：0576-35-2339（代表）

岩屋ダム防災操作図 [平成28年9月20日洪水]



岩屋ダムの防災操作の効果（東沓部地点）

金山町 東沓部

金山町 戸部
(県道256号線側)

ダムによる水位低減効果約1.1m

ダムがない場合の最高水位 約5.2m (推定)

今回の出水による
最高水位 約4.1m (実績)

平常時の平均水位 約1.0m



※東沓部地点: 岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本川合流前約7.5kmの地点
(住所: 岐阜県下呂市金山町東沓部字前田会津1458)

いわや
岩屋ダムの防災操作について(速報)
(^{まぜがわ ひがしくつべ}馬瀬川(東沓部地点)の水位を1.1m低減)

先島諸島から北東に進んだ台風16号は、中心付近の気圧945hPa、中心付近の最大風速45mの勢力を保ちながら9月20日未明に大隅半島に上陸し、その後東北東に進みました。岩屋ダムでは流域の総雨量が222mmを記録したことから、防災操作を実施しました。

岩屋ダムでは、貯水池へ流れ込む水の量が20日17時34分に洪水流量(毎秒300立方メートル)に達したため防災操作を開始し、19時22分に流入量が最大(毎秒671立方メートル)となり、毎秒464立方メートルをダムに貯留しました。

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダムの放流量	同時刻におけ るダム貯留量
いわや 岩屋ダム	222mm	平成28年9月20日 19時22分	毎秒671 m ³	毎秒 207m ³	毎秒464m ³

今回の防災操作により、ダム下流にある^{ひがしくつべ}東沓部地点(下流基準点)では、約1.1メートルの水位低減効果があったと推定されます。

^{ひがしくつべ} 東沓部地点※の水位が 最高水位となった時刻	同時刻における ^{ひがしくつべ} 東沓部 地点の河川水位	ダムがなかった場合 の同地点の最高水位	水位低減効果
平成28年9月20日 21時00分	4.1 m	5.2 m	1.1 m

※ ^{ひがしくつべ}東沓部地点 ^{いわや}岩屋ダム下流約9.3km、飛驒川本川合流前約7.5kmの地点

所在地 : 下呂市金山町^{ひがしくつべ}東沓部字前田会津 1458